

令和8年度  
徳島県にぎわい創出推進補助金  
(とくしままるごとエンタメ化事業)  
募集要項

徳島県観光スポーツ文化部 観光政策課にぎわい創出室

○提出期限：令和8年7月17日(金)午後5時(必着)

○提出先(問合せ先)：

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

徳島県観光スポーツ文化部 観光政策課にぎわい創出室

電話：088-621-2461

メール：kankouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

## 目 次

<b>1. 事業概要</b>	<b>1</b>
(1) 趣旨・目的	1
(2) 補助事業者	1
(3) 募集要件	1
(4) 補助金交付の対象となるイベント実施期間	2
(5) 補助金の額及び補助金の支払時期・方法	2
<補助率等早見表>	3
(6) 補助対象経費	4
(7) 申請金額・補助件数について	4
(8) 個人版ふるさと納税について	4
<b>2. 応募概要</b>	<b>5</b>
(1) 募集期間	5
(2) 応募書類	5
(3) 提出方法	5
(4) 提出部数	5
<b>3. 審査及び審査後の手続きについて</b>	<b>5</b>
(1) 審査について	5
(2) 審査の視点について	5
(3) 審査後の手続きについて	6
<b>4. その他留意事項等</b>	<b>6</b>
(1) 事業実施にあたっての留意点	6
(2) 申請にあたっての留意点	7
<b>5. 質問の受付及び回答</b>	<b>7</b>
(1) 質問の受付期間	7
(2) 質問先	7
(3) 質問の方法及び回答	7
<参考①> 補助金交付の具体的な流れ	8
<参考②> 応募時提出書類一覧	9
<b>6. 提出先及び問い合わせ先</b>	<b>9</b>

## 1. 事業概要

---

「徳島県にぎわい創出推進補助金交付要綱」に基づき、「令和8年度徳島県にぎわい創出推進補助金（とくしままるごとエンタメ化事業）」の募集に関して必要な事項を定める。

### (1) 趣旨・目的

県内外からの観光誘客の促進及び地域経済の活性化を推進するため、民間団体等が本県ならではのコンテンツの発掘・充実を図ることにより、年間を通じ県下全域で「大規模」な新たなにぎわいを創出する経費の一部を補助するものである。

### (2) 補助事業者

次の要件を満たす団体や法人等（以下、団体等という。）を対象とする。

- ・ 法人格を有しない団体及び個人事業主にあつては、一定の規約を有し、かつ、代表者及び所在地が明らかな者
- ・ 明確な会計処理を実施していること又は実施できると認められる者
- ・ 県税等を滞納していない者
- ・ 申請者又は申請者の役員等が、暴力団等の反社会勢力又は反社会的勢力との関係を有しない者

### (3) 募集要件

以下のアからキの要件のすべてを満たしたもの。

- ア 令和8年10月から令和9年2月までに開催される徳島県内のにぎわい創出に寄与するイベントであり、本県との親和性を有するエンターテインメントが含まれるもの
- イ 1日限りのイベントであれば10,000名以上、複数日開催のイベントであれば、1日あたり5,000名以上の来場者数が見込めるメインイベントを2日以上有したイベントであるとともに、県外からの来場者数が3割程度見込めるもの（オンラインの参加者数を除く）であり、かつ提示する来場者数が見込める根拠を明確に示すことができるもの
- ウ 新規イベントにあつては、提示する来場者数が見込める根拠を明確に示すこととし、継続イベントにあつては、過去の実績と比較し、明確に基準を超えることが分かるもの
- エ 継続イベントについては、新たなにぎわいの創出に効果的な新規要素を加えることとし、その要素は単純な質や量の向上ではないもの
- オ 全てのイベントは継続的な開催（一定の事業収入が見込める仕組みを備えるもの）が可能で、かつ4年以内に独自開催が見込めるもの
- ※ 事業収入とは、イベント参加を目的としたチケット販売やスポンサーシップ、協賛、関連商品の販売や飲食物の提供等をいう。
- カ イベント期間中に経済波及効果が測定できるようアンケートを実施するとともに、イベント終了後に別に定める計算方法にて算出し報告すること。
- キ 過去、本補助事業から支援を受けた事業は、改善点を含んだ事業計画であることが明確であるもの
- ※ 継続イベントとは、同じ主催者にて過去5年間に1回以上行われたイベントをいう。

※ 以下の項目のうちいずれかに該当する場合は対象とならない。

(ア) 政治的又は宗教的活動等に該当すると認められるもの

(イ) 法令等に違反すると認められるもの

(ウ) 持ち回り開催のもの

(エ) 補助を受けようとする年度に、国や地方公共団体から負担金又は補助金の交付を受けているもの

※ ただし、対象経費が明確に区分されている場合はこの限りではない  
(申請時に事業計画書等で経費の区分を明記すること)。

(オ) 提出書類に虚偽の記載があるもの

(カ) 本要項に違反又は著しく逸脱したもの

(キ) 補助事業計画の内容が、射幸心をそそる恐れがあるもの、公の秩序もしくは善良の風俗を害することとなる恐れがあるもの、又は公的な支援を行うことが適当でないと認められるもの

(ク) 事業収入を確保する仕組みを有していないもの

(ケ) その他、審査結果に影響を及ぼす恐れのある不正行為があるもの

(コ) 本補助金を必要とせず運営が可能なもの

(4) 補助金交付の対象となる事業期間

補助金交付決定の日から令和9年3月31日(水)までの間。

※ 交付決定前に着手した事業経費は、補助の対象とならない。

(5) 補助金の額及び補助金の支払時期・方法

予算の範囲内において、補助対象経費の総額の3分の2以内とする。

※ ただし、事業収入がある場合はこの限りではない。

※ 詳細については徳島県にぎわい創出推進補助金交付要綱を参照すること。

※ 実績報告において事業収入が事業費を上回った場合、次年度以降は採択されない場合がある。

※ 継続イベントにおいては、過去3回分の収支状況を見て、総合的に判断する。

補助金の支払時期は、原則として、補助事業者が補助事業完了後に提出する実績報告書等をもとに徳島県において内容を審査し、補助金の額を確定した後、徳島県から直接支払う(精算払)。

なお、実績報告書において、実績が計画と著しく異なる等の状況が認められた場合や、事業収入が増額(※)となった場合は、補助金を交付しない、または交付決定額を減額することとなるため、事業収入が増額となる場合は、必ず徳島県に報告すること。

補助事業の完了により当該補助事業者に相当の利益が生ずると認められるものとして、精算時において事業収入及び補助金の額の合計が補助対象経費を上回る場合は、以下のいずれかのうち、最も低い金額を交付する。

① 既交付決定金額

② 補助対象経費が事業収入を上回る額に、事業収入の10分の1(上限300万円)を加えた額

③ 精算時の事業収入及び補助対象経費によって算出した補助金額

---

※ 増額とは事業収入が増加し、交付決定額の合計が補助対象経費を上回る場合を言う。

< 補助率等早見表 >

				1 回目	2 回目	3 回目	
補 助 率					2 / 3 以内	1 / 2 以内	1 / 3 以内
基本補助額			上 限 額	1,000万円 以内	750万円 以内	500万円 以内	
加 算 要 件	(1) 1 日開催	来 場 者 数	15,000名以上 20,000名未満	上 限 額	500万円 以内	375万円 以内	250万円 以内
			20,000名以上	上 限 額	1,000万円 以内	750万円 以内	500万円 以内
	(2) 複数日開催	1 日 あ た り の 来 場 者 数	10,000名以上 15,000名未満	上 限 額	500万円 以内	375万円 以内	250万円 以内
			15,000名以上 20,000名未満	上 限 額	1,000万円 以内	750万円 以内	500万円 以内
			20,000名以上	上 限 額	1,500万円 以内	1,125万円 以内	750万円 以内
	(3) 全イベント	本県のふるさと納税(個人版)の返礼品に登録可能なものを有するもの。 なお、寄附見込額の1 / 2相当を加算額とみなす。		上 限 額	500万円 以内	375万円 以内	250万円 以内
	上限合計額				3,000万円 以内	2,250万円 以内	1,500万円 以内

【特例規定】

本県の地域経済等に相当な効果があると認められるものについては、2回目以降の補助であっても〈1回目〉と同じ補助率、上限額及び加算要件を適用することとする。

※ なお、本補助金を用いて、当該返礼品の数量又は内容に影響を及ぼすことがないように留意すること。

(6) 補助対象経費

出演費等	
出演費	出演料
企画制作費	企画制作料
運営費等	
運営費	照明費、音響費、人件費、情報通信機器借料、機材借料
上映費	上映費、映写機材借料
会場費	会場使用料（付帯設備費を含む）、会場設営費、会場撤去費
運搬費	機材運搬費
旅費・報償費（飲食にかかる経費を除く）	
旅費	講師等旅費（国内交通費、宿泊費）
報償費	講師等謝金
雑役務費・消耗品費等	
雑役務費	広告宣伝費、印刷製本費、保険料、権利等使用料
消耗品費	消耗品費
通信費	通信費、郵送料

○補助の対象とならない経費の例

- ・恒常的な団体等の人件費
  - ・団体等における事務局の維持費（家賃、光熱水費等）
  - ・消費税（地方消費税を含む。以下同じ。）、印紙、振込手数料及び代引手数料
  - ・交際費、接待費、手土産代
  - ・飲食費（出演者やスタッフの弁当、飲料、菓子等）
  - ・イベント参加者への景品、賞金
  - ・事業実施者において当然備えているべき機器・備品購入費
  - ・個人版ふるさと納税に係るプロモーション経費
  - ・汎用性の高い備品（事業完了後も引き続き財産として利用できる事務機器等）
- ※ 助成対象となることが明確でない経費については必ず事前に確認すること。

(7) 申請金額・補助件数について

補助金額及び補助件数は、徳島県の本補助事業予算の範囲内での採択とする。

※ 審査結果が補助金額に反映されるため、申請金額の満額が交付されるとは限らない。

※ 審査結果に関する問合せには応じない。

(8) 個人版ふるさと納税について

本補助金の加算要件の申請に際し、個人版ふるさと納税の加算要件の適用を求める場合は、ふるさと納税制度の趣旨を理解した上で、総務省が定める告示(平成 31 年総務省告示第 179 号、令和 7 年 6 月 24 日改正)等の関係法令・通知を遵守し、イベント返礼品等について、「令和 8 年度とくしままるごとエンタメ化事業個人版ふるさと納税に関する情報記入シート」へ記載例を参照の上、作成し提出すること。

【参考】

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01zeimu04\\_02000144.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zeimu04_02000144.html)

## 2. 応募概要

---

### (1) 募集期間

令和8年6月23日（火）から同年7月17日（金）午後5時必着

※ なお、応募書類の提出に先立ち、「申請表明書」及び「令和8年度とくしままるごとエンタメ化事業個人版ふるさと納税に関する情報記入シート」を7月3日（金）午後5時までに提出すること

### (2) 応募書類

- ・ 事業計画書（様式第2号 その2）
- ・ 事業計画書補助資料（自由様式）
- ・ 収支予算書（様式第3号）
- ・ 誓約書（様式第4号）
- ・ 申請者の概要がわかる書類（規約、定款、組織図等）
- ・ 県税等すべてに未納がないことの証明
- ・ 登記簿謄本、決算書（直近1期分）またはそれに準ずる書類
- ・ その他知事が必要と認める書類

※ 継続イベントにおいては、過去実施した3回分の以下の書類を追加すること

- ・ 事業内容（自由様式）
- ・ イベントの来場者数及び県外からの参加者数（自由様式）
- ・ 事業収支（自由様式）

### (3) 提出方法

次の提出先まで郵送又は持参で提出すること。

#### 【提出先】

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
徳島県観光スポーツ文化部 観光政策課にぎわい創出室

### (4) 提出部数

提出部数は、様式第2号その2、事業計画書補助資料及び様式第3号は6部（正1部、副5部）とし、それ以外は正1部とする。

## 3. 審査及び審査後の手続について

---

### (1) 審査について

徳島県に提出された応募書類等に基づき、外部有識者を含む審査員による書面での審査を行い、採択事業を決定する。ただし、審査員が対面での審査を希望した場合、調整の上、これに応じること。なお、採択される場合にあっては、審査会の意見を踏まえた留意事項を付す場合や、高額な交付要望は、予算上の制約や費用対効果の観点から事業の一部について採択されない場合がある。

### (2) 審査の視点について

審査は、事業計画の内容、その実施方法等が、本事業の趣旨・目的に資するものか、経費が適正・適切に計られているかなどを総合的に判断する。

<審査の視点>

- ア 実施計画の概要
- イ 実現可能性
- ウ イベントの魅力
- エ 地域への経済効果
- オ 事業の継続性
- カ 情報発信の具体性

(3) 審査後の手続きについて

ア 審査結果の通知

応募された事業計画の審査結果については、採否に関わらず、令和8年7月下旬から8月上旬を目安に文書により通知する。

イ 緊急時対応計画（EAP：Emergency Action Plan）策定

補助事業者としての採択及び補助金の内定通知を受けた団体等は、補助対象事業の実施7日前までに必ず徳島県へ緊急時対応計画を提出すること。

なお、軽微な変更が発生した場合はイベント実施前までに再度提出すること。

【参考】

「徳島県『EAP（緊急時対応計画）』策定の手引き」について

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/bosai/kikikanri/7238950/>

ウ 実績報告書の提出

補助金交付決定の通知を受けた団体等は、補助事業完了後、実績報告書を所定の期間内に徳島県へ提出すること。なお、実績報告書において、実績が計画と著しく異なる、効果や成果の把握ができていない等の状況が認められた場合は、交付決定額の減額や採択を取消することがある点に留意すること。

エ 補助金の交付

徳島県は、実績報告書の内容を審査し、当該補助事業の成果が補助金の交付の決定及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、補助金の額の確定通知書により通知し、補助金を交付する。

※ 審査から補助金の交付までの詳細は9ページ「<参考①> 補助金交付の具体的な流れ」を参照すること。

## 4. その他留意事項等

---

(1) 事業実施にあたっての留意点

ア 各種法令の遵守

各種イベントの開催に当たっては、著作権を始めとした各種法令を遵守し、適正に実施すること。

イ 実施計画の変更

事業開始後、実施計画の内容に変更が生じた場合は、徳島県に速やかに報告し、変更内容に応じた手続きを行うこと。

ただし、補助対象経費の各費目相互間において、いずれか低い額の20%以内を増減させる場合又は補助事業の目的の達成に支障を来さない事業計画の細部の変更であって、交付決定を受けた補助の額の増額を伴わない場合は、この限りではない。

ウ 事業の実績報告

事業実施後に実績報告書を提出する必要があるため、事業効果や成果を明確に記載できるよう、あらかじめ準備しておくこと。

また、補助事業者の経理処理を確認するため、実績報告書と併せて証拠書類（銀行振込明細書、請求書、契約書、領収書の写し等）を提出すること。

エ 関係書類の保管

補助を受けた事業については、当該事業に関する帳簿及び収入支出に関する証拠書類を補助事業の完了した日の属する年度の終了後5年間保存すること。

オ 広告宣伝費等の上限

県下全域のにぎわいを創出するにあたり、イベントの広報費は事業費の3割までとし、超過した費用については、対象経費から除外する。

(2) 申請にあたっての留意点

ア 本募集への申請は1事業者あたり1回とし、複数の申請は受け付けない。

なお、定期的なイベント開催を実施する場合は、事業計画書に明記すること。

イ 採択をした事業への補助は最長3回まで。（4回目以降は補助対象外）

※ ただし次回以降の補助を約束するものではない。

※ 本県の地域経済等に相当な効果があると認められるものは、この限りではない

## 5. 質問の受付及び回答

---

(1) 質問の受付期間

公募開始日から令和8年7月3日（金）午後5時まで

(2) 質問先

徳島県観光スポーツ文化部 観光政策課にぎわい創出室

メール：kankouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

(3) 質問の方法及び回答

上記のアドレスまでメールで問い合わせること。公平性を期すため、電話・FAXでの問合せは受け付けない。なお、件名は「【事業者名】とくしままるごとエンタメ化事業への問合せ」とし、回答が可能なものについて、受信から5日以内に徳島県ホームページで回答する（土・日・祝日は除く）。

ただし、関係者等への確認を要する質問で、期限までに回答できない場合は、その質問に対する回答のみ後日行うことがある。

<参考①> 補助金交付の具体的な流れ

1. 申請表明書の提出（団体等→にぎわい創出室）  
【提出期限】 令和8年7月3日（金）午後5時 ※必着  
【提出書類】 ① 申請表明書  
② 令和8年度とくしままるごとエンタメ化事業個人版ふるさと納税に関する情報記入シート
2. 事業計画書等提出（団体等→にぎわい創出室）  
【提出期限】 令和8年7月17日（金）午後5時 ※必着  
【提出書類】 ① 事業計画書（様式第2号その2）  
② 事業計画書補助資料（自由様式）  
③ 収支予算書（様式第3号）  
④ 誓約書（様式第4号）  
⑤ 申請者の概要がわかる書類  
⑥ その他知事が必要と認める書類
3. 審査（審査委員会）  
補助事業の選定と補助金額の内定  
令和8年7月下旬から令和8年8月上旬（予定）  
※ 審査委員会が認めるときは、条件を付することができる。
4. 内定通知（にぎわい創出室→団体等）
5. 交付申請書提出（団体等→にぎわい創出室）  
【提出書類】 ①交付申請書（様式第1号その2）  
②収支予算書（様式第3号）
6. 決定通知（にぎわい創出室→団体等）※上限額の通知
7. EAPの提出（団体等→にぎわい創出室）
8. 事業計画変更（団体等→にぎわい創出室）  
変更が必要な場合、その都度提出  
【提出書類】 ①変更（中止・廃止）承認申請書（様式第5号）  
②変更（中止・廃止）事業計画書（様式第6号）  
③変更収支予算書（様式第7号）
9. 事業実施
10. 実績報告（団体等→にぎわい創出室）  
【提出書類】 ①実績報告書（様式第10号その2）  
②事業報告書（様式第11号その2）  
③収支決算書（様式第12号）  
④対象経費の支払いが確認できる書類（契約書、領収書の写し等）  
⑤事業実施が確認できる書類  
（状況写真、対象経費によるチラシ等の制作物等）  
⑥その他知事が必要と認める書類
11. 補助金の額の確定通知（にぎわい創出室→団体等）  
※ 不備等がある場合、減額することもある。
12. 補助金請求（団体等→にぎわい創出室）  
【提出書類】 補助金請求書（様式第14号）

<参考②> 応募時提出書類一覧

	新規イベント	継続イベント
事業計画書（様式第2号その2）	○	○
事業計画書補助資料（自由様式）	○	○
収支予算書（様式第3号）	○	○
誓約書（様式第4号）	○	○
申請者の概要がわかる書類（規約、定款、組織図等）	○	○
県税等すべてに未納がないことの証明	○	○
登記簿謄本、決算書（直近1期分）またはそれに準ずる書類	○	○
過去3回分の事業内容がわかる書類（自由様式）		○
過去3回分の来場者数及び県外からの参加者数がわかる書類（自由様式）		○
過去3回分の事業収支がわかる書類（自由様式）		○
その他知事が必要と認める書類	○	○

## 6. 提出先及び問い合わせ先

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
 徳島県観光スポーツ文化部 観光政策課にぎわい創出室  
 電 話：088-621-2461  
 メール：kankouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp